

学長選考基準

— 宇都宮大学に求められる学長像について —

令和8年3月18日

国立大学法人宇都宮大学学長選考・監察会議

宇都宮大学は、「人類の福祉の向上と世界の平和に貢献する」という理念の下、栃木県の多様で豊かなフィールドを活かした実践的な教育・研究を基盤として、社会の中核を担う人材の育成と知の創造・発信を着実に重ねてきた。

学長には、本学の理念の下、「“地域の知の拠点”として変革をリードする」という基本姿勢を尊重し、その実現に向けて、変化する社会環境に応じて大学を先導するリーダーとして、次のような資質・能力が求められる。

1. 人格と学識及び運営力

社会の多様性を尊重し、高潔な人格と卓越した学識を備えるとともに、本学における教育研究活動を統合的かつ効果的に運営することができる能力を有すること。

2. ビジョン及びリーダーシップ

経営及び教学の最高責任者として、本学の理念を踏まえた明確なビジョンと、国際的・経営的視野に基づく戦略を有し、強いリーダーシップを発揮して学内外と協働しながら改革を推進することができる能力を有すること。

3. 地域共創及び社会連携の推進力

地域共創の中核的拠点として、地域社会・自治体・産業界等との連携を構築し、地域共創及び社会連携を推進することができる能力を有すること。

4. イノベーションの創出力

グローバル化とデジタル社会の進展に対応し、イノベーションの創出を通じて、社会ニーズを踏まえた教育・研究の高度化を実現することができる能力を有すること。

5. 大学運営及び組織文化の醸成力

透明で公正、かつ、多様性を尊重する大学運営及び組織文化を醸成し、責任ある判断と説明を行うとともに、本学の成果と価値を国内外に的確に発信し、信頼と共感を高めることができる能力を有すること。

以上